



徳川美術館 名品コレクション展示室

令和7年 1月4日(土)～3月23日(日)

展示期間 A:1/4(土)～1/28(火) B:1/29(水)～2/26(水) C:2/27(木)～3/23(日)

武家のシンボル — 武具・刀剣 —

大名はいうまでもなく武士であり、その集団の長であったため、泰平の世の江戸時代にあっても常に軍備を怠ってはならなかった。大名家の武器武具は単なる戦闘実用品ではなく、同時に「武士の心根」を表すように美しく気品に満ちていることが必要だった。中でも刀剣は「武士の魂」といわれる通り、武士の精神の象徴として大切にされ、最も高い格式を持ち、公式の贈答品の筆頭ともされた。大名の甲冑は、一軍の大將の着用品である。武威と気品に満ち、贅を尽くし技術の粋を集めてはた目にも美しく見えるように作られた。

No	名 称	作者・所用者・所蔵者・寄贈者など	時代	世紀	期間
1	銀箔置白糸威具足	松平通温(尾張家3代綱誠19男)所用	江戸	18	
2	葵紋蒔絵糸巻太刀拵	徳川宗睦(尾張家9代)・斉荘(同家10代)・慶勝(同家14代)所用	江戸	18	A B
3	梨子地葵紋蒔絵糸巻太刀拵	徳川宗睦(尾張家9代)所用	江戸	18	C
4	網代溜塗軍配団扇	徳川綱誠(尾張家3代)所用	江戸	17	A
5	輪宝文金銀泥軍扇	徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	B C
6	上り藤馬標	徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	
7	青貝柄槍拵 黒塗鞘付 五本		江戸	18-19	
8	白銀造烏蒔絵毛抜形太刀拵	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸	19	A
9	葵紋蒔絵細太刀拵	徳川治興(尾張家9代宗睦2男)所用	江戸	18-19	B C
10	梨子地刀拵	徳川宗春(尾張家7代)所用	江戸	18	A B
11	梨子地脇指拵	徳川宗春(尾張家7代)所用	江戸	18	A B
12	蠟色塗刀拵	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸	元治元年<1864>	C
13	蠟色塗脇指拵	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸	19	C
14	太刀 銘 備州長船康光	徳川家治(10代将軍)・徳川治行(尾張家9代宗睦嫡子)所持	室町	15	
15	刀 銘 肥前国住人忠吉作	徳川家斉(11代将軍)・徳川斉朝(尾張家10代)所持	江戸	17	
16	脇指 銘 備中水田住 大月八郎左国重	徳川家慶(12代将軍)・徳川斉荘(尾張家12代)・慶勝(同家14代)所持	江戸	17	
17	短刀 銘 兼光	徳川家治(10代将軍)・徳川宗睦(尾張家9代)所持	南北朝	14	
18	火縄銃 三匁五分筒 銘 刃鉄重張 天和三亥年八月吉日 芝辻小兵衛清正(花押)		江戸	天和3年<1683>	A
19	火縄銃 三匁五分筒 銘 渡辺佐次右衛門頼次作		江戸	17	A
20	火縄銃 十匁筒 銘 国友甚兵衛重当作		江戸	17	A
21	唐銅二百目短筒 銘 延宝二年甲寅七月吉日 辻弥兵衛之種作		江戸	延宝2年<1674>	A
22	象牙葵紋蒔絵羽箒形口薬入		江戸	17-18	A
23	葵紋付青漆革胴薬入 附 葵紋付青漆革玉袋		江戸	18-19	A
24	一匁弾鑄形 銘 国友勝左衛門作		江戸	17-18	A
25	三匁五分弾鑄形 銘 二 芝辻小兵衛 三匁五分玉		江戸	17-18	A
26	鑄鍋		江戸	18-19	A
27	大名火消図巻	所三男氏寄贈	江戸	18-19	B C
28	羅紗地葵紋付火事頭巾	徳川慶勝(尾張家14代)着用	江戸	19	B
29	赤羅紗地桐に鳳凰文火事頭巾	徳川宗春(尾張家7代)着用	江戸	18	C
30	紺羅紗地茶臼紋付火事羽織	上田家寄贈	江戸	18	B
31	白羅紗地葵紋付唐獅子牡丹文火事羽織	徳川宗春(尾張家7代)着用	江戸	18	C
32	御腰物元帳(文政年間)第一巻 仁ノ部 御大切御道具ノ部		江戸	19	
33	本阿弥光一折紙 寛政参年亥卯月三日 (No.15 刀 銘 肥前国住人忠吉作 附属)		江戸	寛政3年<1791>	
34	亀図三所物 無銘 真乗(後藤家15代)		江戸	18-19	
35	若松万歳図二所物		江戸	18-19	
36	烏帽子に横笛図目貫		江戸	17	
37	桜花図赤銅鐺		江戸	19	
38	雲に三本杉図透鉄鐺	伝徳川家康所用	江戸	17	